

議員提出議案第2号

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件

上記の議案を朝霞市議会会議規則第14条の規定により、別紙のとおり提出する。

令和8年3月23日提出

提出者	朝霞市議会議員	利根川	仁	志
賛成者	朝霞市議会議員	岡崎	和	広
賛成者	朝霞市議会議員	駒牧	容	子
賛成者	朝霞市議会議員	遠藤	光	博
賛成者	朝霞市議会議員	宮林	智	美
賛成者	朝霞市議会議員	石原		茂
賛成者	朝霞市議会議員	黒川		滋
賛成者	朝霞市議会議員	本田	麻希子	
賛成者	朝霞市議会議員	田辺	淳	
賛成者	朝霞市議会議員	石川	啓子	
賛成者	朝霞市議会議員	外山	麻貴	
賛成者	朝霞市議会議員	兼本	尚昌	
賛成者	朝霞市議会議員	渡部	竜二	

朝霞市議会議長 様

## アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件

アメリカとイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始しました。これは国連憲章と国際法を乱暴に蹂躪する無法な先制攻撃であり、力による現状変更は断固抗議します。

グテーレス国連事務総長はじめ、世界中から批判の声が起こっております。きわめて重大なことは、トランプ米大統領が、イラン政権を「巨大なテロ組織」と決めつけ、「大規模かつ継続的な作戦を実施する」、「イランの海軍を壊滅させる」と宣言し、イラン国民に対して「抗議を続けて、国家機関を乗っ取れ」として、体制転覆を公然と呼びかけていることでもあります。

いかなる理由があつたとしても、武力による一方的な攻撃で、独立した主権国家の最高指導者を殺害する権限は、トランプ米大統領に与えられておりません。その体制転覆を目的として、「大規模かつ継続的」な攻撃を行うならば、中東及び世界の平和と安定に深刻な打撃をもたらすことは必至であります。

また、この度の軍事攻撃により双方に多数の死傷者が出ており、罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっております。

イランによる報復攻撃も周辺諸国に拡大しており、軍事的エスカレーションを引き起こす事態は絶対に阻止しなければなりません。

日本政府として、人命や人間の尊厳を守る、国際人道法を厳守する事を訴え邦人の保護を最優先すると共に、原油の政府備蓄の放出も再検討し、エネルギーの安定供給に努め日本国内の物価高騰対策に最大限の努力を求めます。

朝霞市議会として、アメリカ政府・イスラエル政府に対し強く抗議し、直ちに攻撃を中止し、対話による平和的解決を強く要求するものです。

以上 決議する。

令和8年3月23日

朝霞市議会